

館山市の 台所事情

～ 平成26年度 決算版 ～

「館山市の財政は、どうなっているの？」

「厳しい！って聞くけど大丈夫！？」

市民の皆さまの疑問に答えるため、日々のくらしに深くかかわる市の財政状況を、家計に例えて、できるだけ分かり易く説明します。



市民の皆さまへ

この『館山市の台所事情』は、平成20年度決算から、多くの市民の方々に「館山市の財政状況」や「税金の使われ方」について理解を深めてもらいたいという思いから作成し、おかげさまで、多くの方々にお読みいただき、普段なじみの薄い市の財政について、ご理解をいただけてきたと思っています。

今年度、市では市政運営の基本指針となる「新総合計画」を策定しています。また、人口減少・少子高齢化問題に対する「地方人口ビジョン」と「館山版総合戦略」の策定作業を終え、今後のまちづくりの目標、新たな市の将来像を描くためにも、市民の皆さまとの対話を重ね、市政の情報を共有することが何よりも大切なことだと思っています。

皆さまと、館山の将来のことを共に考えるため、この『館山市の台所事情』がその一助となればと思います。

平成27年10月

館山市長 金丸 謙一



決算の仕組み、会計の種類や決算額	3 P ~
歳入・歳出決算額について	6 P ~
決算を家計に例えると	14 P ~
市の借金・貯金、各種財政指標	17 P ~
行財政改革の取組みについて	23 P ~
平成26年度に実施した主な事業と決算額	26 P ~

1 決算とは？ どのような意味があるの？

基礎知識編

① 決算とは何ですか？

- ④ 市に1年間（4月～3月）に入ってきた収入と、その収入を何のために使ったのか（支出）の実績を、市議会・市民の皆さまに明らかにすることが決算です。



決算は毎年6月～7月にかけて取りまとめを行い、毎年9月の市議会で審議されます。

関連用語

▼ 予算

決算の対義語は予算です。予算とは、1年間の収入を見積もり、どのような事業にどれくらい使う予定（行政サービスの内容）であるのかを示した計画のことです。

② 決算から、どんなことを読み取ればいいの？

- ④ 決算は、行政サービスの実施結果であり、市民の皆さまが実際の生活体験から得た行政サービスについて、金額として公表されたものです。

よって、決算内容に対する市民皆さまの率直な意見が、行政サービスをより一層効率的・民主的なものに変え、今後の市民福祉の向上につながると考えています。



また、決算では、

- 年間収支の結果（収入総額－支出総額）
- 借金や貯金額の状況

などを元に、他の市町村との比較・分析を行い、市の財政状態がどのようになっているのかが分かります。

※ 次ページ以降で説明していきますので、最後まで、ご覧になってください。



2 市の会計種類と決算額について

❓ どんな会計があるの？

- ㊤ 市の会計は、どの収入がどんなことに使われるのか、収入と支出の関係をはつきりさせるため、一般会計と特別会計に区分しています。

一般会計

教育、福祉、道路整備など市の基本的な行政サービスを行う会計

特別会計

国民健康保険税や下水道使用料など、特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計

市の特別会計は、このようになっています

▼ 国民健康保険会計

国民健康保険加入者の疾病、負傷、出産などの費用の一部を負担します。加入者の皆さまの国民健康保険税などを財源としています。

▼ 後期高齢者医療会計

後期高齢者医療制度に基づき、保険料の徴収・届出受付などの事務を行っています。保険料の賦課・医療の費用負担などは、千葉県後期高齢者医療広域連合が行っています。

▼ 介護保険会計

介護を必要とする人へ、各種介護サービスを行っています。介護保険料と国・県・市の負担金で運営されています。

▼ 下水道事業会計

下水道使用料、受益者負担金及び一般会計からの繰入金などを財源とし、鏡ヶ浦クリーンセンターの維持管理、下水管整備などを行っています。

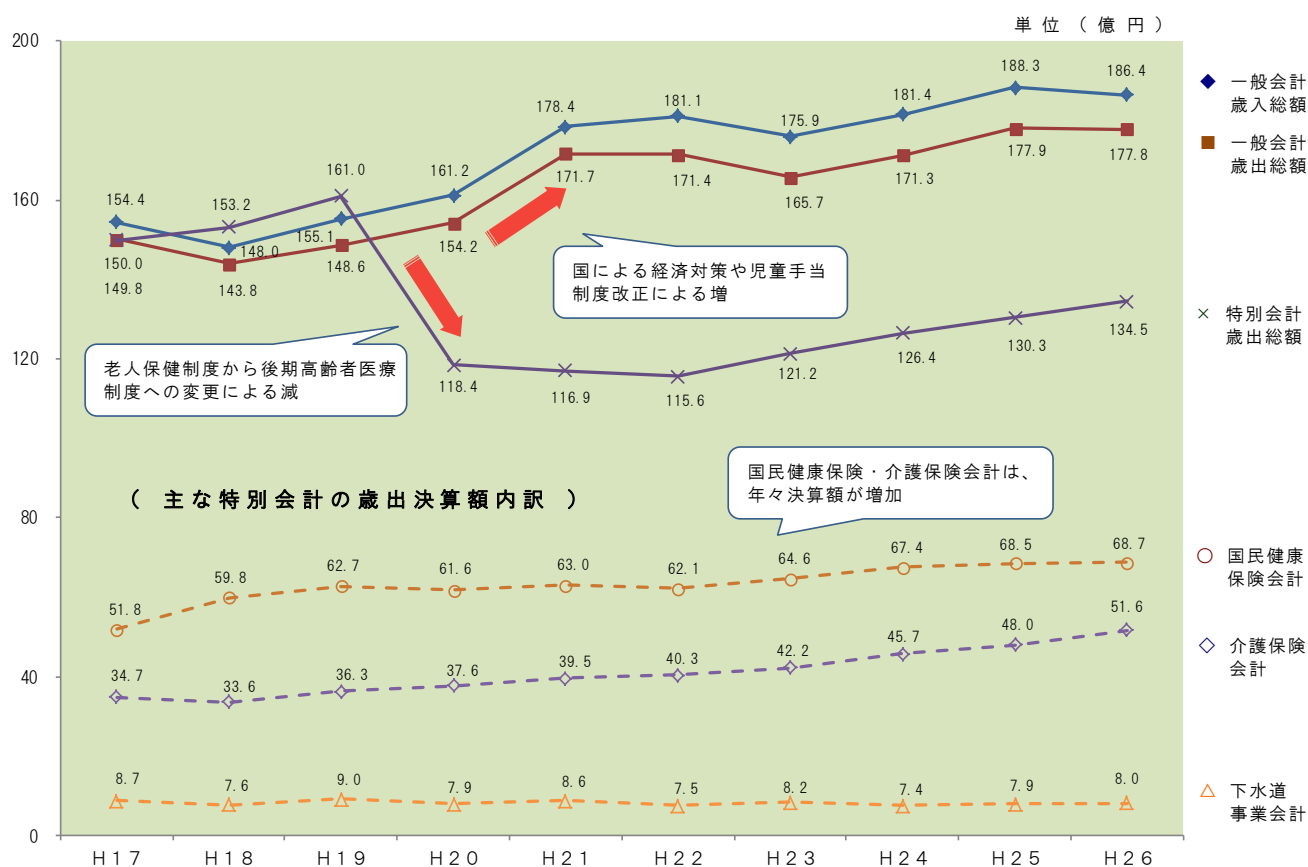


❓ 平成26年度決算額と、これまでの推移は？

㊤ 一般会計と特別会計の決算額は、以下のとおりです。

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計		186億4,107万円	177億7,532万円	8億6,575万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	71億9,404万円	68億6,965万円	3億2,439万円
	後 期 高 齢 者 医 療	6億2,921万円	6億2,756万円	165万円
	介 護 保 険	53億6,072万円	51億6,015万円	2億 57万円
	下 水 道 事 業	8億2,073万円	7億9,609万円	2,464万円
	小 計（特 別 会 計）	140億 470万円	134億5,345万円	5億5,125万円
合 計		326億4,577万円	312億2,877万円	14億1,700万円

▼ 一般会計・特別会計の決算額の推移（過去10年間）

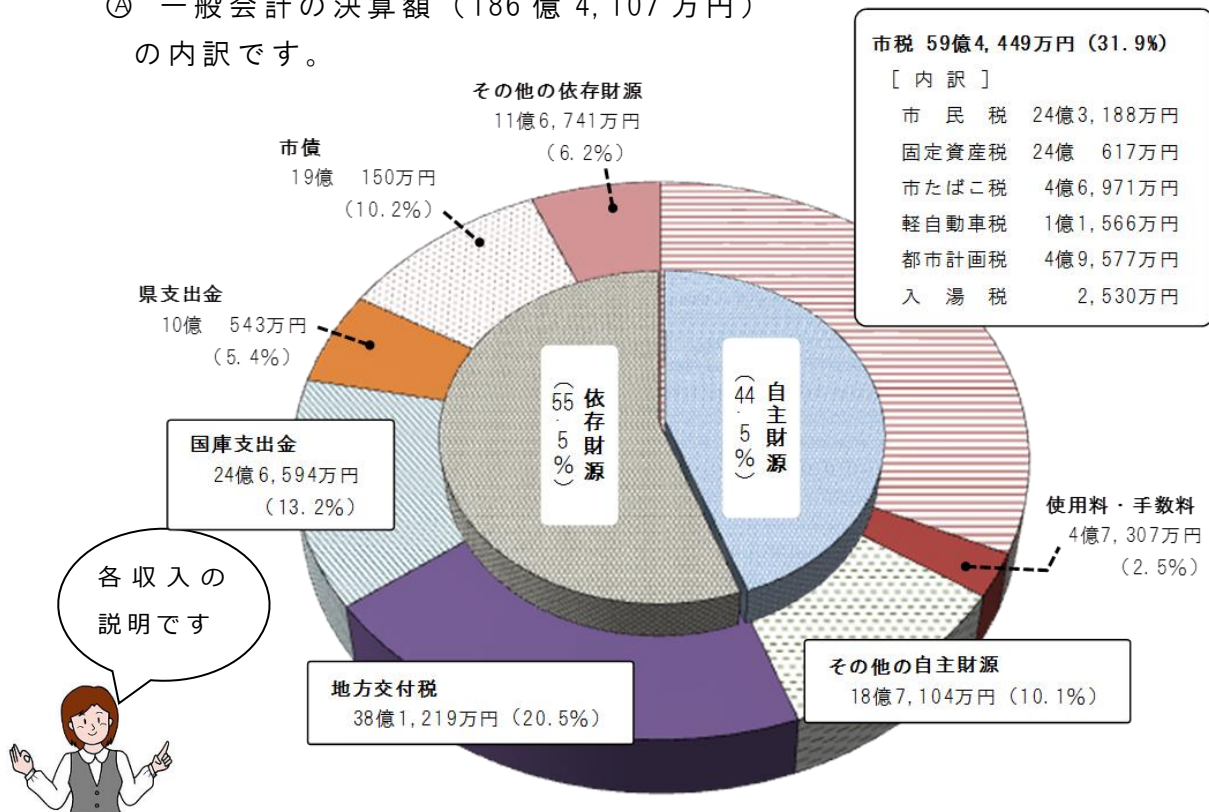


3 収入（歳入）の種類と決算額

歳入編

❓ 収入の種類と決算額を教えてください？

① 一般会計の決算額（186 億 4,107 万円）
の内訳です。



項 目	説 明	具 体 例
市 税	皆さまから市に納めていただいた税金です。	8 ページ参照
使 用 料 手 数 料	市の施設利用や証明書類の発行時にいただいているお金です。	公民館使用料 住民票発行手数料 など
そ の 他 の 自 主 財 源	特定事業に必要な経費の一部を、負担金として納めていただくお金などです。	保育園の保育料 がん検診徴収金 繰越金 など
地 方 交 付 税	全国の地方公共団体が、一定レベルの行政サービスが出来るよう国から交付されるお金です。	
国 庫 支 出 金 県 支 出 金	特定事業の経費の一部として、国や千葉県から交付されるお金です。	児童手当負担金 選挙費用委託金 など
市 債	公共施設（道路や学校など）の建設や改修をする際に、国や銀行などから借りるお金です。	
そ の 他 の 依 存 財 源	皆さまが国や県に納めた税金の一部が、地方に譲与されるお金などです。	地方消費税交付金 地方譲与税 など

❓ 自主財源・依存財源とは？

自主財源

市が自主的に調達できる収入
(市税・使用料・基金取崩し等)

依存財源

国・県から交付される収入や市債など、外的要因に頼るもの

自主財源は、「自治体の財政運営の体力」と言え、比率が高いほど、安定的な財政運営が可能となります。

館山市は、「県内類似団体よりは“体力あり”」と言えますが、県内市全体平均と比較すると、“やや体力不足”の状態です。



参考情報

▼ 各団体の自主財源比率

館山市	・・・	44.5%
県内市平均	・・・	52.4%
県内類似団体(※)平均	・・・	37.5%
南房総市	・・・	25.0%
鴨川市	・・・	39.7%

※ 類似団体の説明はP15参照
(館山市はH26決算数値、
館山市以外はH25決算数値)

❓ どうして借金（市債）するの？

理由① 単年度の財源確保

学校改修や公園整備など一度に多額の経費を必要とするとき、借入により、財源（収入）を確保し、他の必要な事業にも取り組むためです。



理由② 世代間負担の公平性

将来にわたり利用される公共施設は、その年の市民が負担するのではなく、将来住む人にも平等に負担してもらうためです。



❓ 市税収入について、詳しく教えてください。

㊤ 市民の皆さまが、直接市に納めていただく税金は、合計 7 種類あります。詳しい説明は以下のとおりです。

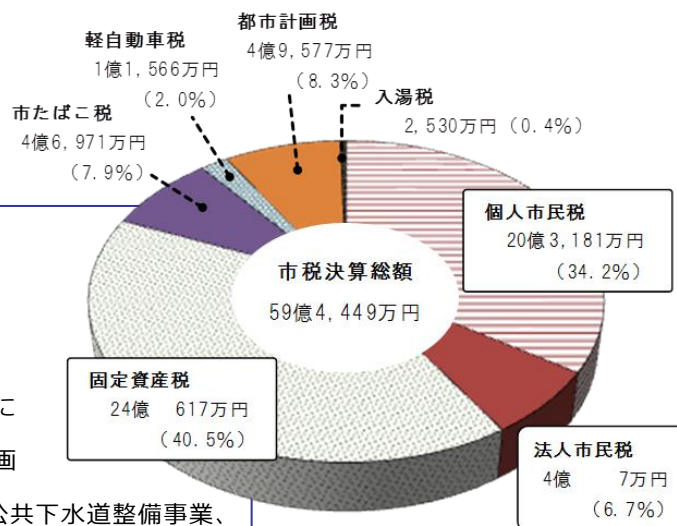
項 目	説 明	種 類
個 人 市 民 税	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税金です。	普通税
法 人 市 民 税	市内に事業所などを有する会社が、収益などを基準に納める税金です。	普通税
固 定 資 産 税	市内に土地・家屋及び償却資産を所有している方が、その固定資産の価格をもとに算定される税額を納めていただく税金です。	普通税
市 た ば こ 税	たばこの製造業者や卸売販売業者などが、市内の小売販売業者に売り渡した「たばこ」に対して課されるものです。皆さまが購入するたばこの代金の中に税金が含まれています。	普通税
軽 自 動 車 税	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人に、納めていただく税金です。	普通税
都 市 計 画 税	都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・家屋に対してかかる税金です。	目的税
入 湯 税	鉱泉浴場における入浴に対し課税されます。	目的税



都市計画税と入湯税は「目的税」と言われ、使いみちが定められている税金です。

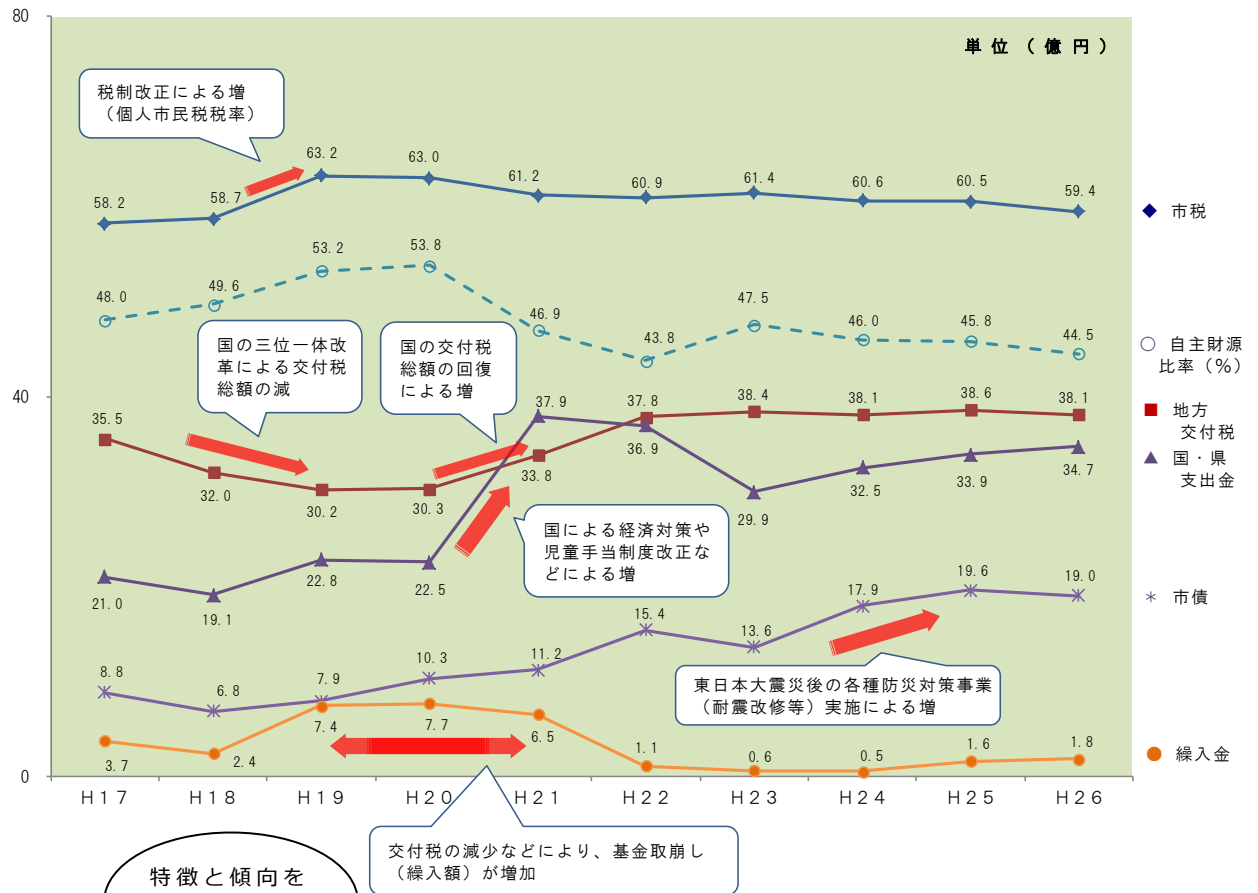
都市計画税は、都市計画事業に要する費用に使うこととされ、平成 26 年度では、都市計画道路船形館山線整備事業（船形バイパス）や公共下水道整備事業、過去に実施した都市計画事業（都市計画道路青柳大賀線など）の市債返済などに充てられました。

入湯税は、観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に使うこととされ、各種観光支援事業や消防車両の購入費用などに充てられました。



❓ 歳入決算額の推移と傾向は？

▼ 歳入決算額の推移（過去10年間）



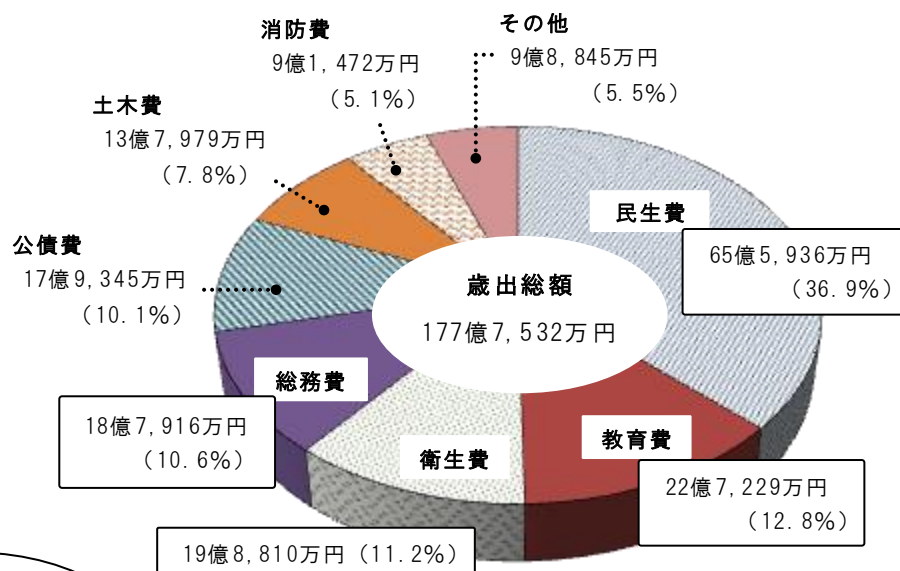
知ってほしい 3つのポイント！！

- ① 市税収入の伸び悩み・・・
全国の地方都市と同じように、高齢化に伴う生産人口の減により減少傾向となっています。
- ② 地方交付税・国県支出金は、国の政策動向により、年度間で大きく変動します！
※ 近年は、国の経済対策や福祉関連経費（生活保護費や障害・介護費用など）の増加により、上昇傾向です。
- ③ 市債は増加傾向！
東日本大震災後の公共施設耐震化事業（学校等）の推進などにより、近年増加傾向です。
※ 国による財政支援の手厚い市債のため将来の市民負担が少ないものです。

4 支出（歳出）の種類と決算額

歳出編

？ どんなことに使われたの？



私たちの税金は、こんな目的に使われているのね！



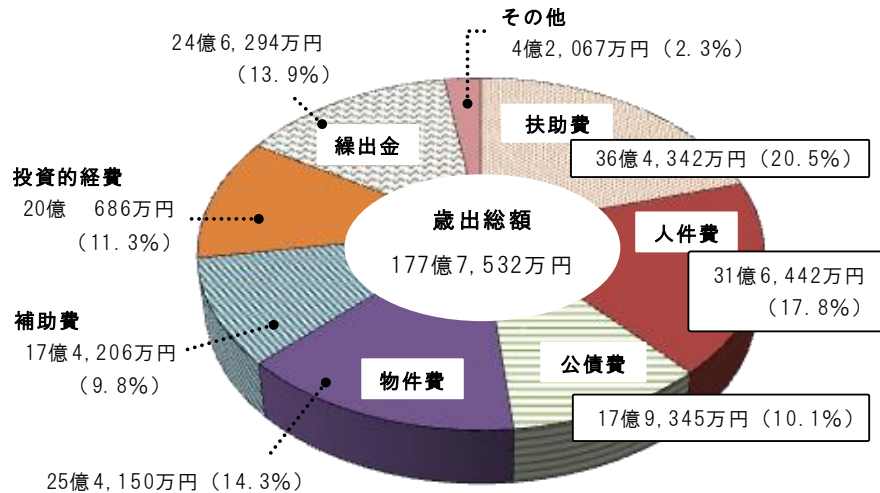
目的名称	具 体 例
民 生 費	福祉の推進のため (生活保護、障害・介護、子育て関連経費など)
教 育 費	教育（学校整備や給食事業など）、 文化振興（博物館運営など）、スポーツ振興など
衛 生 費	清掃関連（ごみ処理経費）、 医療関連（予防接種など）、上水道整備費用など
総 務 費	防災関連（防災行政無線整備など）、 地区コミュニティ費用・その他一般的な事務費用
公 債 費	市債借入金の返済費用（元金・利息）
土 木 費	道路・橋梁・河川整備や 下水道整備費用など
消 防 費	救急救命や消防活動事業など
そ の 他	農水産業・観光業・商工業の振興や 災害関連経費、議会経費など



市職員の人件費は、どのくらいなの？

支出は、前ページで説明した「目的別」のほか、使い方で分類する「性質別」で表すことも出来ます。

円グラフを見ると、人件費には約32億円が使われたことが分かります。

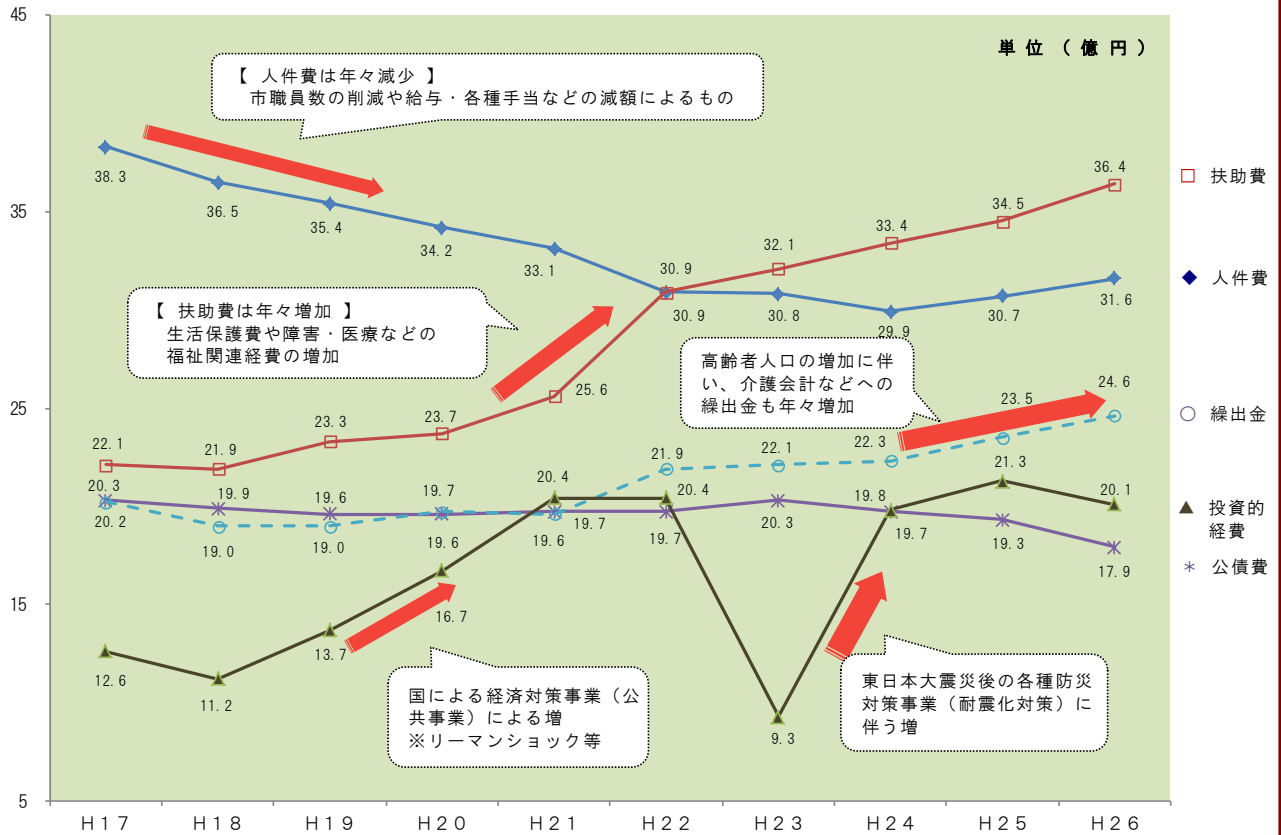


性質名称	説明・具体例
扶 助 費	生活困窮者や障害者、子育てなどの生活をサポートするための費用 (生活保護費、障害者・子ども医療費、児童手当など)
人 件 費	市長や市議会議員、市職員の給料・手当、各種委員や消防団員への報酬などの費用
公 債 費	借金(市債)の返済費用(元金・利息)
物 件 費	光熱水費、事務用機器のリース代、消耗品購入費、業務委託費用など消費的な性質をもつ経費や非常勤職員の賃金など
補 助 費	各種団体活動への補助金(老人クラブ補助・観光団体補助など)や、各種連合組織への負担金(安房郡市広域市町村圏事務組合負担金)などの費用
投 資 的 経 費	道路・学校などの公共施設の改修費用や施設の災害復旧費用など、将来も資産となつて残るものに対する支出
繰 出 金	特別会計(国保・介護など)の運営を補うため、一般会計から支出する経費
そ の 他	施設の維持補修費や他団体への貸付金・出資金など

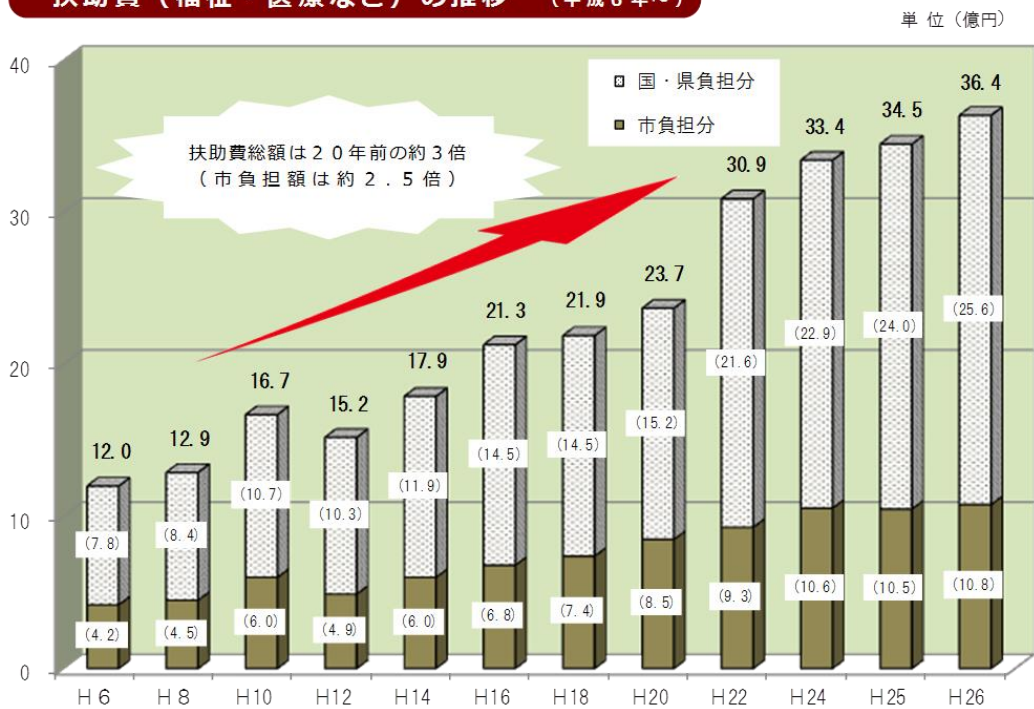


？ 歳出決算額の推移と傾向は？

▼ 歳出決算額の推移（過去10年間）



扶助費（福祉・医療など）の推移（平成6年～）



なぜこんなにも増えたのでしょうか？
次ページで分析してみました。



扶 助 費 増 加 の 主 な 理 由

65歳以上（人口・割合）

児童手当（支給額・対象者）

子ども医療費（助成内容）



障害者医療給付（対象者・決算額）

生活保護（世帯数・決算額）

昔は・・・

（平成7年度）

11,888人（22.3%）

5千～1万円／月

3歳未満

未就学児の入院・通院医療費を助成

651人 6,011万円

242世帯 4億5,097万円

今は・・・

（平成26年度）

17,405人（35.9%）

5千～1万5千円／月

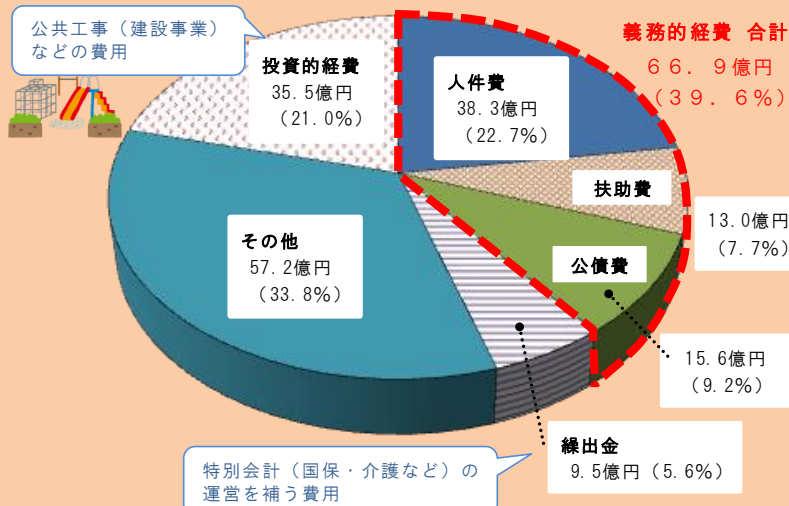
中学生まで

小6までの入院・通院、中学生までの入院医療費を助成

1,474人 1億1,856万円

575世帯 11億7,085万円

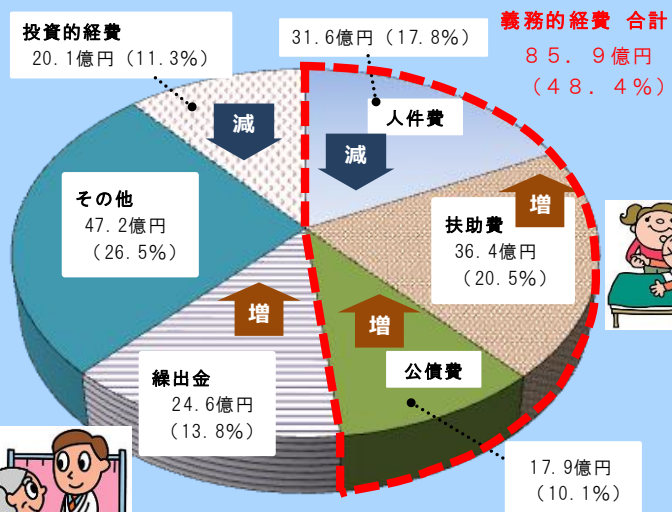
▼ 20年前の支出内訳 （平成7年度決算）



扶助費の支出状況を20年前と比較してみました。

福祉・子育て支援など様々な施策が拡充されてきたことが分かります。扶助費の増は、直接的な行政サービスの向上につながっています。

▼ 現在の支出内訳 （平成26年度決算）



昔は上下水道や道路ネットワークなど、生活インフラ整備が十分ではなかったため、公共工事の支出が多かったのですが、現在は「福祉・医療・子育てなどソフト事業の支出へシフトしている」と言えます。

5 決算を家計に例えてみました

たてやま家 1ヶ月の家計簿

一般会計決算を家族の総収入
300万円（※1ヶ月25万円）
の家計に例えて説明します。



《 収 入 》

給与 11.0万円

世帯主 給与 8.0万円
 （市税収入）
 パート 収入 3.0万円
 （使用料など）

貯金の取崩し 0.2万円
（基金繰入金）

親からの援助 11.3万円
（地方交付税・国県支出金など）

銀行からの借入 2.5万円

（ 合 計 ） 25.0万円

《 支 出 》

食費（人件費） 4.2万円

医療・介護費（扶助費） 4.9万円

ローンの返済（公債費） 2.4万円

光熱水費・消耗品購入 3.4万円
（物件費）

地区会費やサークル活動費 2.3万円
（補助費）

家のリフォーム費用 2.7万円
（投資的経費）

子どもへの仕送り（繰出金） 3.3万円

貯蓄や知人への貸付など 0.6万円

（ 合 計 ） 23.8万円

● 1年を振り返り・・・

給与（市税収入・使用料など）が減る一方で、医療・介護費（扶助費）や子どもへの仕送り（繰出金）が増えました。親からの援助（地方交付税・国県支出金など）も増えましたが、厳しい家計状況のため、貯金の取り崩し（基金繰入金）を行い、やり繰りをしてきました。

今後も厳しい家計状況が予想されるため、新たな収入増加や支出の見直しを考えなければいけない状況です。

6 決算を他団体と比較してみました

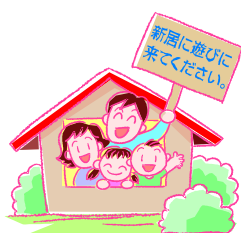


他市と決算規模額を比べると、

多いの？ 少ないの？

Ⓐ 予算・決算規模は、おおよそ人口に比例します。

そのため、他市の状況との比較を行う場合には、人口規模が同程度の団体（※類似団体：下記解説参照）と比較する必要があります。



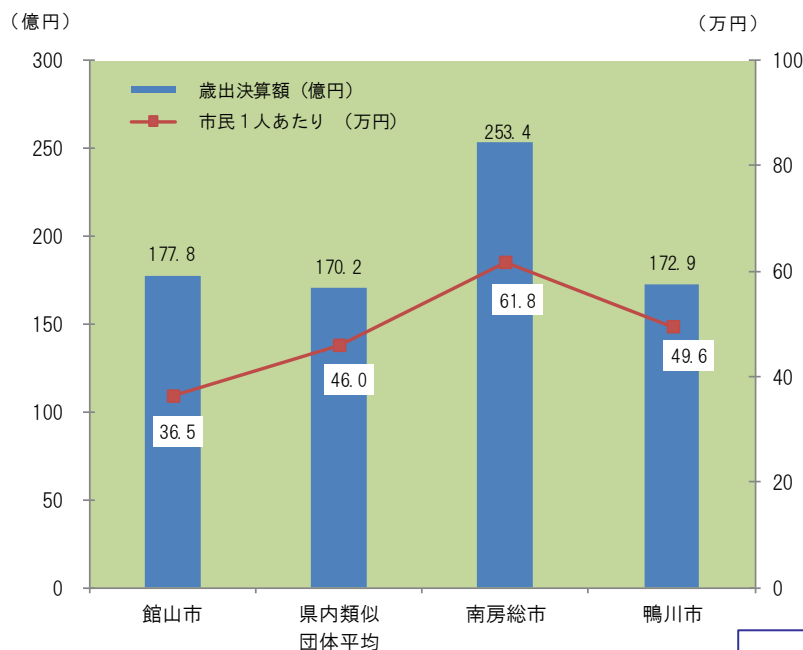
市役所



人口により、税収の増減がある一方、行政サービス費用（ごみ処理・子育て関連経費など）も増減します。

▼ 歳出決算額及び

市民1人あたりに使われた決算額（歳出）の比較



用語解説

▼ 類似団体

国の統計区分で、市町村を人口規模や産業構造により細分化して分類したもの。館山市と同じ分類は、県内で勝浦・鴨川・富津・南房総・匝瑳・いすみの6団体です。

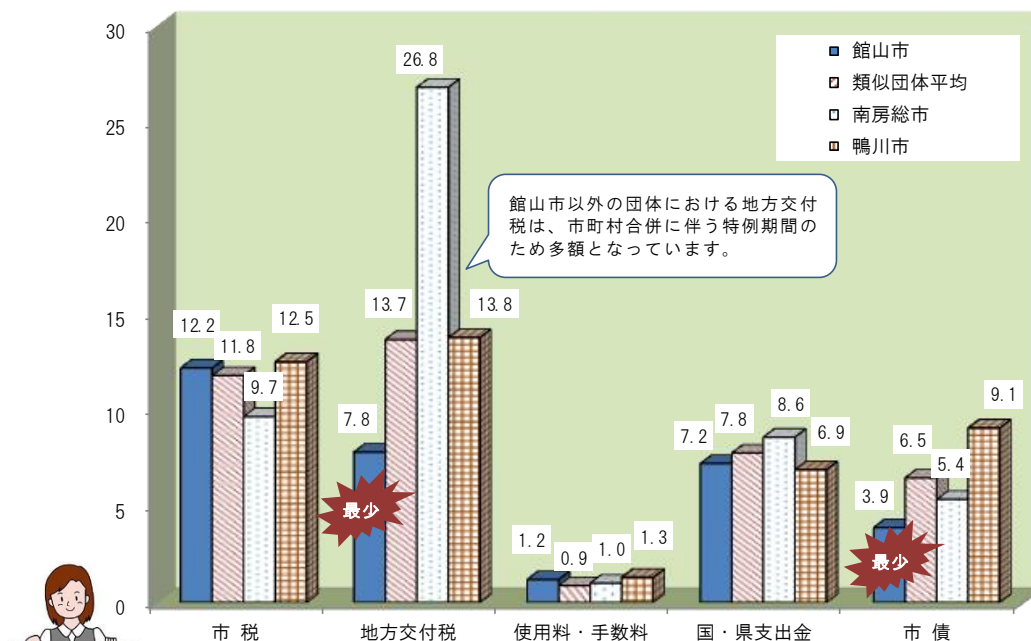
館山市は、市民1人あたりに使われた決算額が少なくなっています。
なぜでしょうか！？
次ページで分析してみました。



同一条件のもと（決算額÷人口）、決算内容を他団体と比較してみました。

▼ 市民 1 人当たりの歳入決算額の比較

（単位：万円）



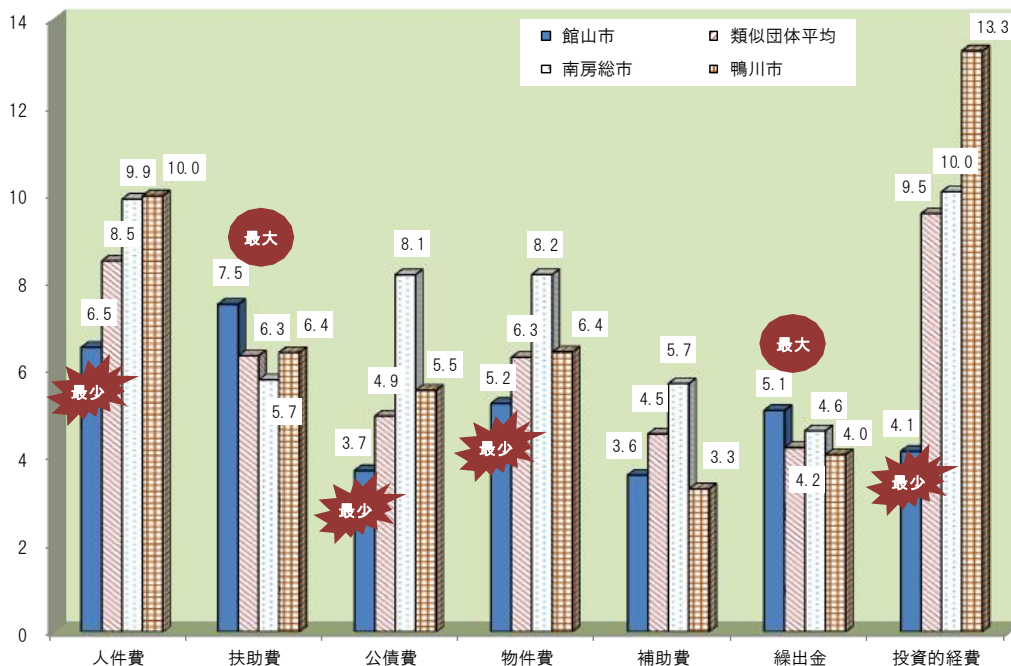
解 説

他団体との比較においてわかる、3つのポイント！

- ① 地方の中核都市として、市税収入は多いが、国からの地方交付税は最少額
- ② 借金（市債）を少なく、公共事業（投資的経費）は抑制基調
- ③ 扶助費・繰出金などの社会保障関係へ手厚く支出する一方、人件費や物件費を抑制

▼ 市民 1 人当たりに使われた歳出決算額の比較（性質別）

（単位：万円）



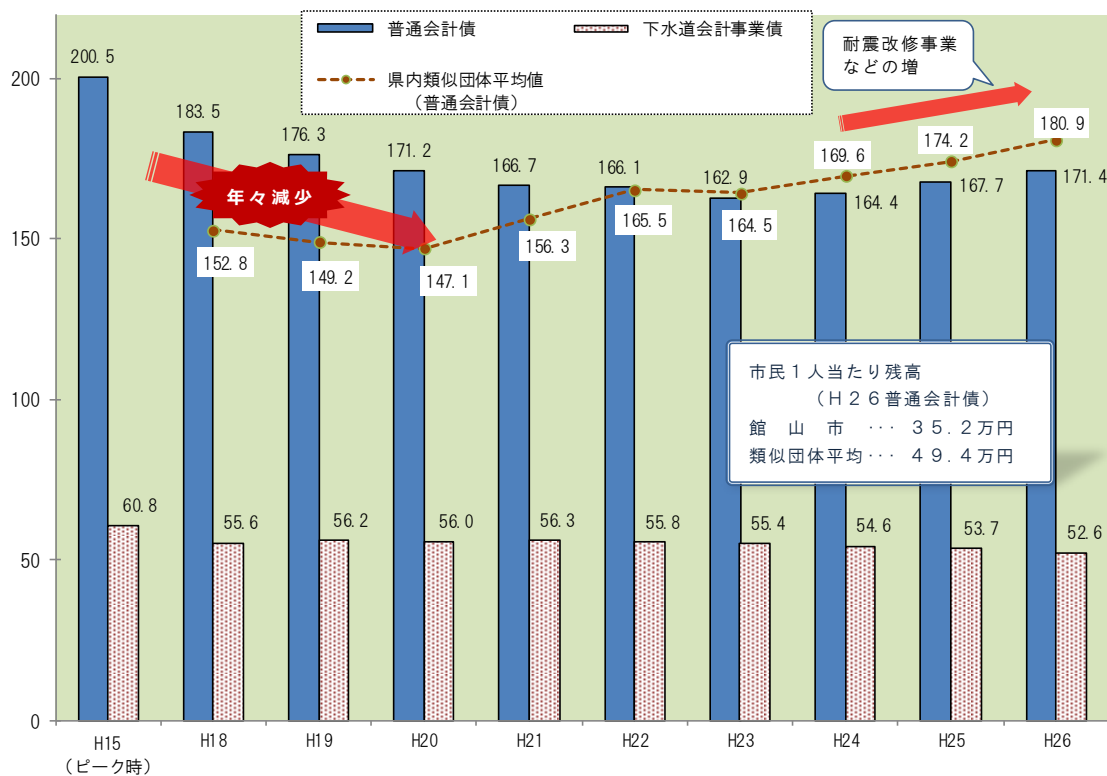
7 市の借金（市債残高）と貯金（基金残高）

借
貯
金
金

？ 市の借金は、どの程度あるのか？

▼ 市債残高の推移及び県内類似団体との比較

（単位：億円）



知ってほしい 4つのポイント！！

- ① 残高はピーク時（H15）から、約29億円（▲15％）の減少
- ② 東日本大震災後の公共施設耐震化事業（学校等）の推進などにより、H24～再び増加中（※国による財政支援がある市債のため、将来の市民負担が少ないものです）
- ③ 市民1人あたりの残高は、県内類似団体平均よりも少ない！
- ④ 市債残高などを基準に算定される、『財政健全化判断比率（※）』は、国の規準を大幅にクリアしています。

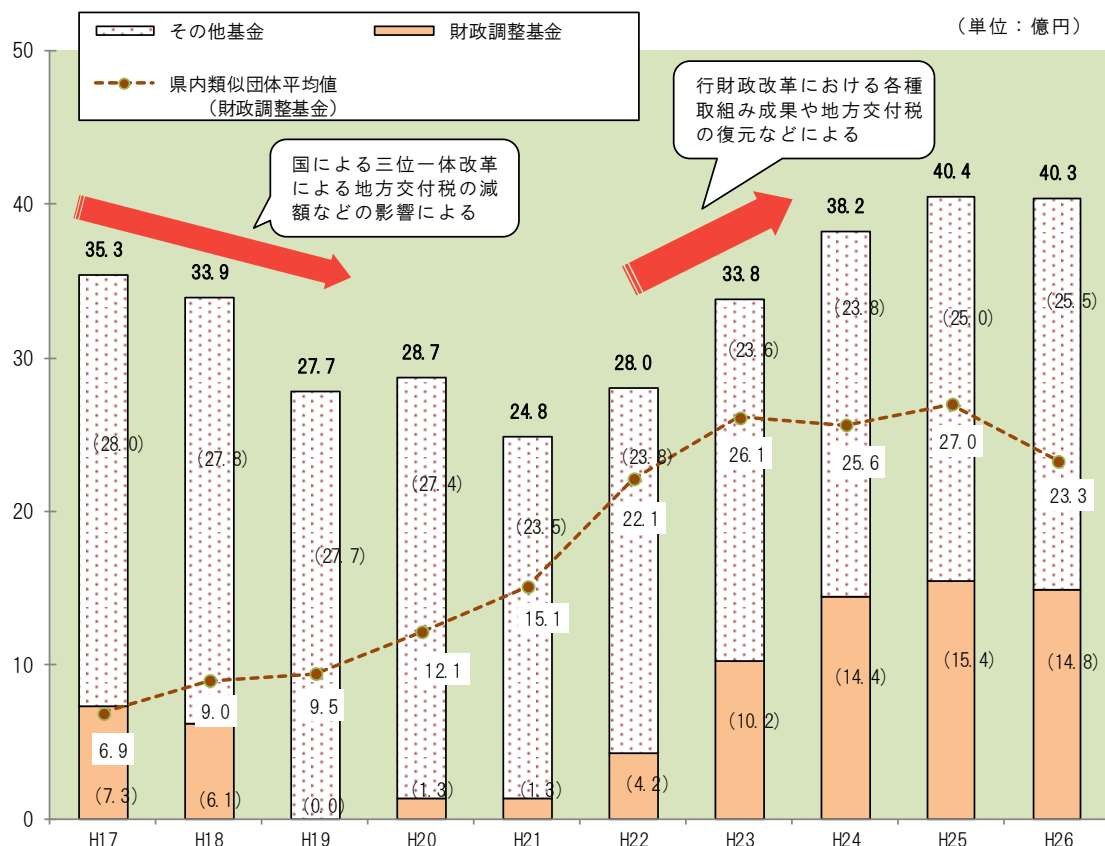
※ 財政運営の健全化を表す指標

詳しくは、21ページ参照



？ 市の貯金は、どの程度あるのか？

▼ 基金残高の推移及び県内類似団体との比較



知ってほしい 3つのポイント！！

市民1人当たり残高
(H26 財政調整基金)
館山市・・・3.0万円
類似団体平均・・・6.2万円

① 基金（貯金）の種類

▼ 特定目的基金

⇒ 特定の目的のため積立を行うもの
(例：庁舎建設基金、スポーツ振興基金など)

▼ 財政調整基金

⇒ 急激な税収減少や災害時などの不測の事態に備えるもの

② 財政調整基金は、行財政改革による効果などで、約15億円台まで回復したものの、平成19年度以来の取り崩しを実施・・・

③ 市民1人あたりの残高は、県内類似団体平均よりもまだ少ない状況・・・



8 各種財政指標について

財政
指標



市の財政状況を表す指標は、
どんなものがあるの？

- ㊦ 各種財政指標は、自治体の財政状況を判断する目安となります。
様々な指標がありますが、主なものを紹介します。

財政力指数

自治体の財政力を示す数値です。数値の高い方が財政力の強い自治体であり、1.0 を超える自治体は、市税など標準的な収入で標準的な行政サービス経費を全て賄える（＝地方交付税が不交付）団体です。

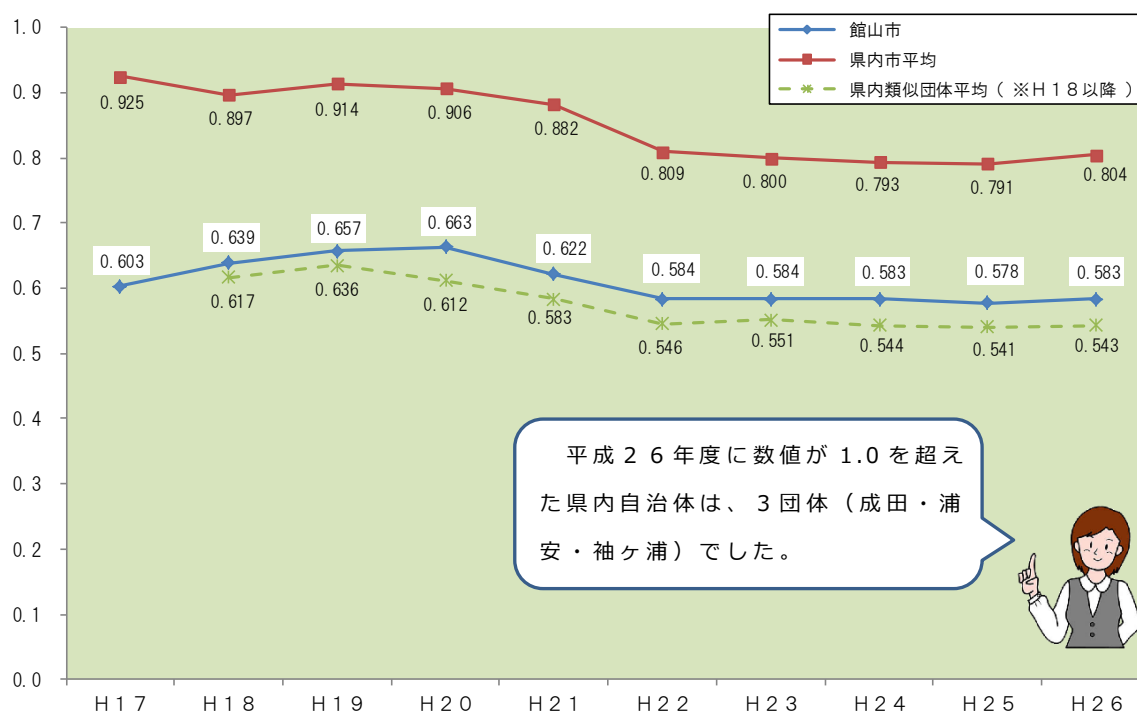
（算定式＝基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額）

（館山市 H26 数値：0.583 ＝ 49 億 673 万円 ÷ 84 億 1,983 万円）

※ 基準財政収入額 … 自治体が自由に使うことのできる収入（一般財源）のことです。市税収入や地方交付税譲与税などの合算額です。

※ 基準財政需要額 … 標準的な行政活動を行うために必要な経費の金額です。人口や面積、道路や公園、公共施設数などにより、「国の基準で算定した館山市の最低限必要な経費」と言えます。

▼ 財政力指数（単年度）の推移



経常収支比率

自治体の財政構造の弾力性（＝自治体が自由に使えるお金が多くあること）を示す指標で、自由に使える経常的な財源（市税などの一般財源）が、経常的に支出される経費（人件費・扶助費・公債費など）にどれだけ充てられたかを表します。

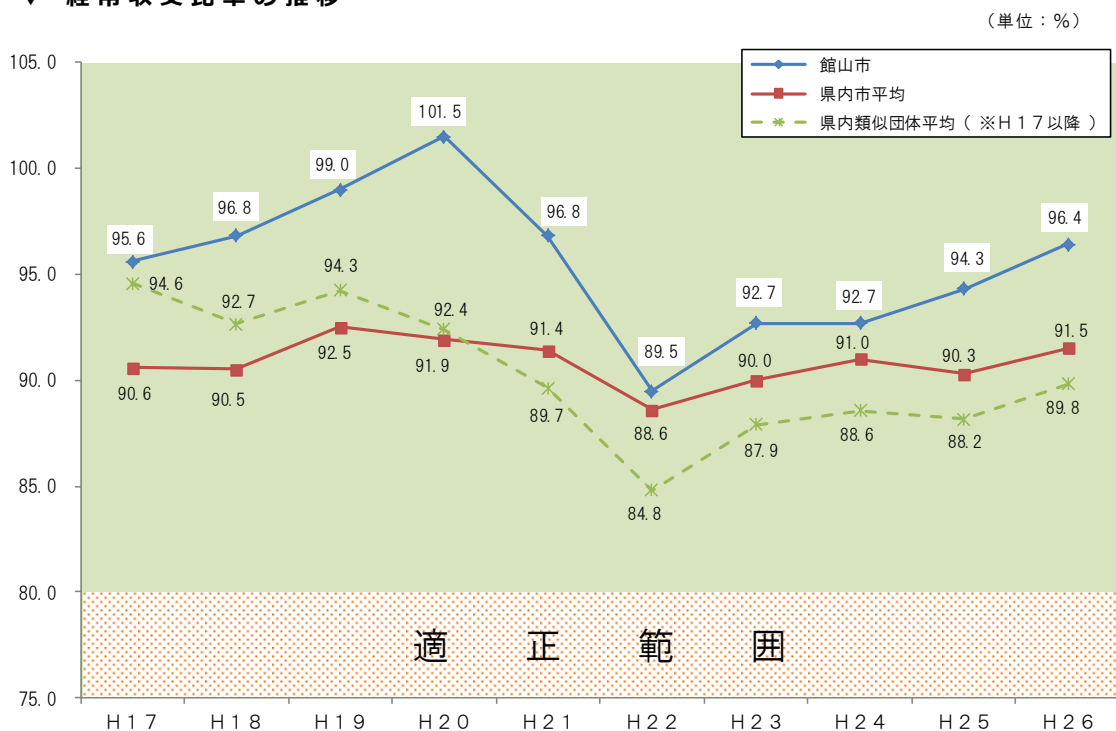
家計に例えると、食費・医療費・ローン返済費用など固定経費の支払が、毎月の給料に占める割合であり、数値が高いほど、家計（＝財政）のやり繰りが苦しいということになります。

（算定式＝経常経費一般財源 ÷ 経常一般財源）

（館山市 H26 数値：96.4%＝104 億 7,349 万円 ÷ 108 億 6,121 万円）

※ 「望ましいとされている比率は 70～80%」と言われています。

▼ 経常収支比率の推移



経常収支比率は、扶助費などの経常的な支出増加により、平成17年以降年々上昇し、平成20年度には100%を超えました。

その後、行財政改革による取組み（人件費削減・各事業の見直しなど）や地方交付税の増加などにより、比率は下がりましたが、近年、扶助費や繰出金の増加などにより、再び上昇傾向となり、県内他団体と比較しても高い数値となっています。



財政健全化判断比率

平成19年に自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「自治体財政健全化法」が成立し、財政の健全化を判断する4つの指標の公表が義務付けされました。

各指標には、国の定める基準があり、基準値を超える団体は財政健全化計画などを作成し、その計画に沿った運営を行うことになります。

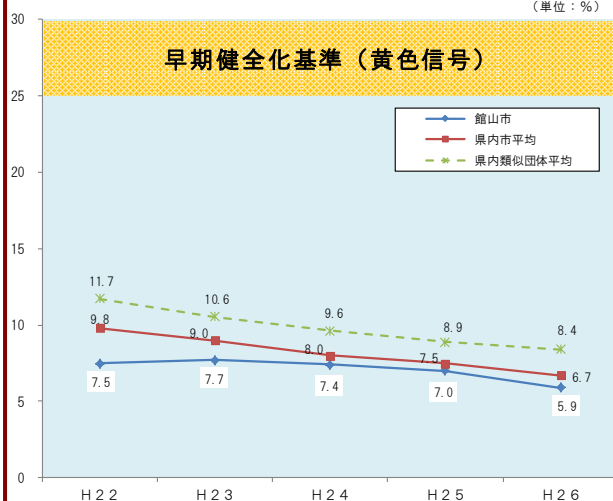
(単位：%)

4つの指標	市数値 (H26)	国の定める基準		説明
		早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)	
実質赤字比率	—	13.22	20.0	普通会計の赤字の程度を表す指標
連結実質赤字比率	—	18.22	30.0	すべての会計を合算した市全体の赤字の程度を表す指標 (市全体の財政運営の深刻度を示す)
実質公債費比率	5.9	25.0	35.0	借入金の返済額などが財政に及ぼす負担を表す指標 (資金繰りの危険度を示す)
将来負担比率	66.9	350.0	—	借入金残高や将来支払いの可能性のある負担などを、現時点で表す指標 (将来の財政運営の危険度を示す)

※ 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、赤字額がない(黒字)ため「—」で表示しています。

▼ 実質公債費比率の推移

(単位：%)

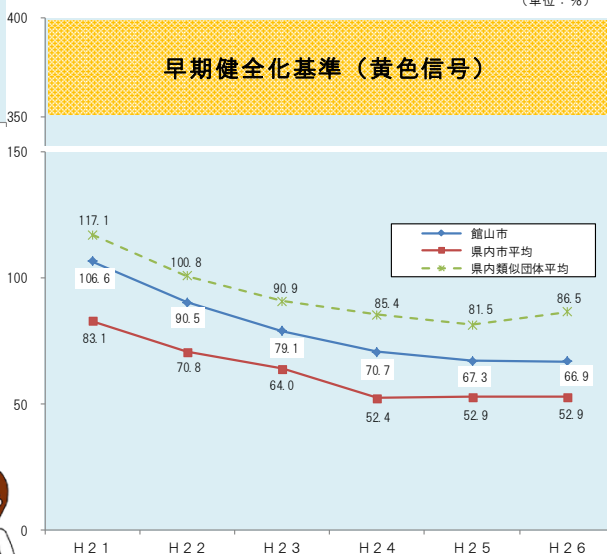


いずれの指標も、国の定めた基準を大幅に下回っており、県内平均値とほぼ同水準となっています。



▼ 将来負担比率の推移

(単位：%)



財政状況を、体の健康状態に例えてみましょう！！

定期健診の結果

3つのポイントで
解説します。



チェックポイント

H26年度

判定

目標値

ポイント ① ～ 借金（市債）残高は妥当なものか？～

▼ 毎年の借金返済額が、多くなっているか？

実質公債費比率

5.9%

A

10.0%以下 ※ 国の基準 25.0%

▼ 将来の子どもたちへの負担が多くなっているか？

将来負担比率

66.9%

A

100.0%以下 ※ 国の基準 350.0%

ポイント ② ～ 貯金（基金）残高は妥当なものか？～

▼ 将来に備えた貯金をしているか？

財政調整基金残高

14.8億円

B

20億円以上

※ 県内平均値（対標準財政規模）

ポイント ③ ～ 財政運営の「ゆとり」は、あるのか？～

▼ 財政に「ゆとり」がどれだけあるのか？

実質赤字比率

－ ※赤字無し

A

発生させない

連結実質赤字比率

－ ※赤字無し

A

発生させない

経常収支比率

96.4%

C

91.5%以下 ※ 県内 市平均値

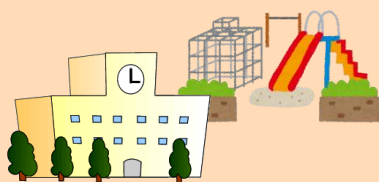
- | | |
|---------|---------------------------------|
| A 正常 | 健康です |
| B 注意 | 健康ですが、生活に注意が必要です |
| C 要経過観察 | 治療が必要な状況ではありませんが、生活改善などの努力が必要です |
| D 要治療 | 1日も早く受診し、医師の適切な治療が必要です |
| E 要入院 | 速やかに入院し、一定の改善が見られるまで生活上の制約が必要です |

9 行財政改革の取組みについて

行財政
改革

❓ 行財政改革とは？なぜ取組みが必要なの？

将来の心配事・・・



公共施設の老朽化



更なる少子高齢化による
福祉・医療費の増加



税収の
伸び悩み



「ゆとり」のない財政運営
※経常収支比率の高止まり
(20ページ参照)

これから増加する費用や、
新たな市民サービスの向上を図るためには・・・



市民協働（行政が実施すること、
市民・NPO団体などに実施し
てもらうことの明確化）



生活習慣病の予防、病気の
早期発見・治療など健康
寿命を延ばす施策により、
医療・介護費を削減
します



行政サービスの
見直しが必要！



行政サービスを受
ける人に応分の負
担を求めます



公共施設の統廃合・
民間委託の推進



これまでの取組み内容と結果は？

「行財政改革方針」における取組み（平成 21～25 年：合計効果額）

《 歳入増加額 5カ年合計：5億 7,799 万円 》

- ・ 市税の徴収対策強化による税収確保 1億 3,490 万円
- ・ ふるさと納税制度の新規項目設定による寄附額増 1億 3,378 万円
（コミュニティ医療事業・小谷家住宅保存活用事業）
- ・ 市有財産の売却（未利用土地・建物など） 1億 1,665 万円
- ・ し尿処理手数料の改定 9,314 万円
- ・ 公共施設使用料改定（市民運動場・公民館など） 2,060 万円
- ・ 新規手数料の徴収（赤山地下壕跡観覧料・粗大ごみ手数料） 1,022 万円
- ・ 有料広告制度の導入（広報紙・市ホームページなど） 596 万円

使用料改定など、市民の皆さまのご協力が、
歳入増加に繋がっています。



《 歳出削減額 5カ年合計：10億 7,779 万円 》

- ・ 職員給与の削減（特別職・一般職） 4億 100 万円
（H 22～24 年度：特別職 10%、一般職 3～5%削減）
- ・ 職員数の削減（H 20：414 人→H 25：398 人 16 人減） 3億 9,745 万円
- ・ 各種施設等の運営方法見直しによるもの 8,220 万円
（生活排水処理施設・老人福祉センター・温水プールなど）
- ・ 各種補助事業の見直しによるもの 3,000 万円
（短期人間ドック・生ごみ処理機購入補助など）

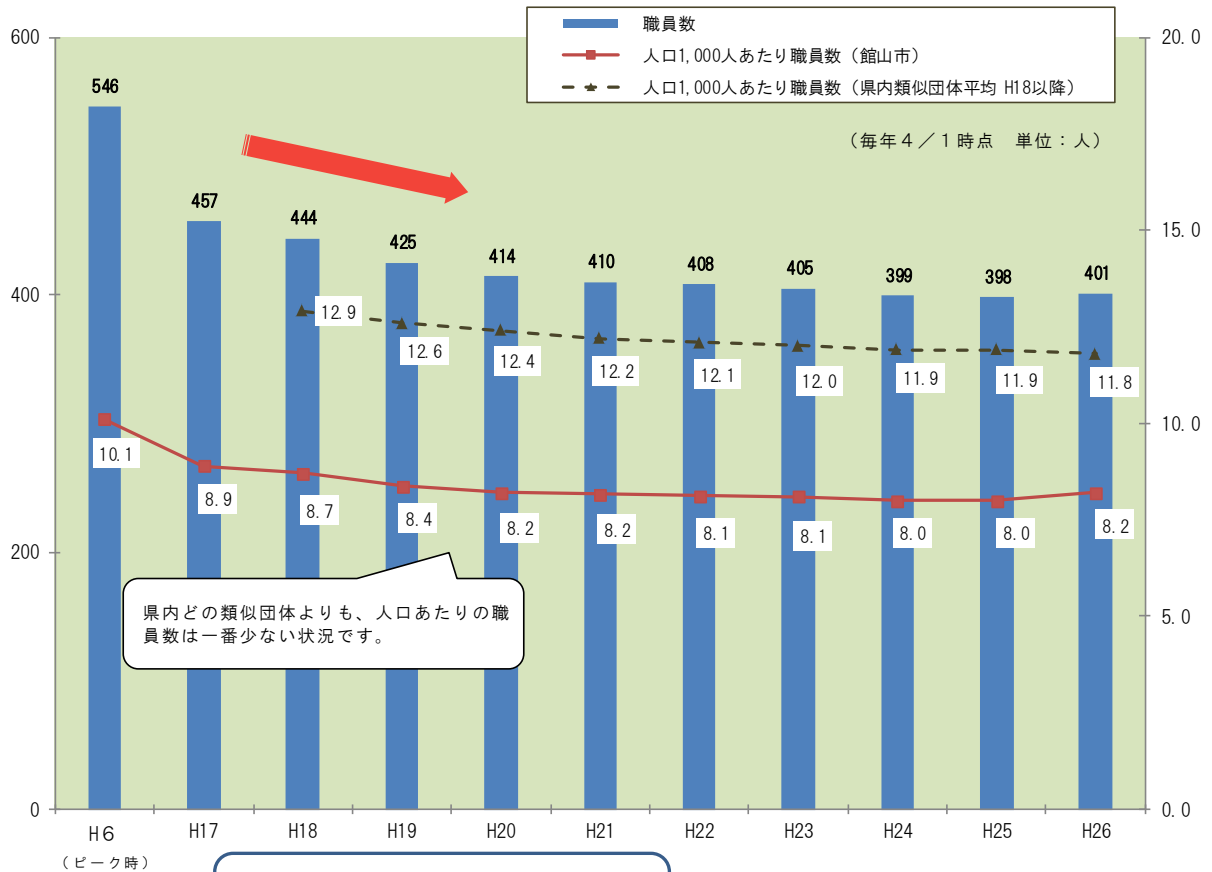
今後も、「各種施設の効率的運用・統廃合・民営化」の検討や更なる
自主財源の確保などについて取り組んでいきます。





人件費の削減が大きいけど、 市職員数はどのくらい減らしてきたの？

▼ 市職員数の推移



どうして職員をこんなに減らしてきたのでしょうか？



知ってほしい 3つのポイント！！

- ① 民間企業で実施可能なことは、
業務委託をお願いします！
(例：ごみ収集の民間委託、施設の指定管理など)
- ② 業務内容に応じて非常勤職員を積極的に
雇用・育成し、マンパワーを確保します。
(例：市民課の受付、施設受付、日々の事務作業など)
- ③ 『最少の経費で最大の効果』を目標に！！
※ 職員数は少なくても、
住みよいまちづくりのため
職員一丸となって努力していきます。



平成26年度 主な事業と決算額

「活力あるふるさと館山」の実現に向けて

事業名称と事業実施の担当部署を記載しています。

〔新規〕 → H26年度新たな取組み

〔拡充〕 → H26年度事業内容を拡充

ここからは、市が平成26年度に行った主な事業について、概要・事業費・その事業にかかった財源などを説明します。

「皆さまの身近で行われてきた様々な事業に、どの程度の費用がかかっていたのか」などに着目して、お読みいただければ幸いです。



〔新規〕 ●●●●事業 (△△△課)

事業費		XXX万円
財源	国	XXX万円
	県	XXX万円
	市債	XXX万円
	他	XXX万円
	市	XXX万円

事業内容の説明文書

事業実施にあたり、どんなお金をもと（財源）にして、事業を行うかを表しています。

国 → 国が負担する金額

県 → 県が負担する金額

市債 → 市の借金によるもの

他 → 利用者などの負担によるもの

市 → 市が負担（市民の皆さまの税金などの一般財源）

『健康で安心して暮らすことのできる

まちづくり』のため



消 防 ・
防 災 編

〔拡充〕 防災行政無線整備事業

(社会安全課)

事業費 1億 911万円

財 源	国	1,667万円
	県	
	市債	8,700万円
	他	
	市	544万円

デジタル防災行政無線の新設(7基)改修(24基)や既存防災行政無線の保守・修繕工事を行い、災害時における情報連絡体制及び救援体制の確保を図りました。

設置基数 132基
(H26年度末)



〔拡充〕 防災看板・標識等整備事業

(社会安全課)

事業費 539万円

財 源	国	231万円
	県	
	市債	
	他	
	市	308万円

津波避難対策として、津波避難ビル・避難指定場所を示す看板や避難経路を表す路面シートを新たに整備しました。

- ・ 避難ビル案内看板設置 97カ所
- ・ 避難経路路面シート 100カ所

避難場所



〔新規〕 防災対策道路整備事業

(建設課)

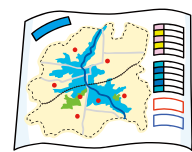
事業費 671万円

財 源	国	
	県	
	市債	670万円
	他	
	市	1万円

災害時の避難路となる法定外道路について、安全性を確保するため舗装補修工事を行いました。

湊地区 子安神社への避難経路
延長=149.5m

ハザードマップ



自主防災促進事業

(社会安全課)

事業費 280万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	18万円
	市	262万円

自主防災組織が行う、防災機材の購入や非常食の備蓄などに補助を行い、自主防災組織の充実を図りました。

補助対象：西区 外14件

補助金額

(施設整備) 限度額 100万円

(備品購入) 限度額 20万円



安房郡市広域市町村圏事務組合 常備消防費負担金 (社会安全課)

事業費 7億3,871万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	7億3,871万円

常備の広域消防体制の整備充実を図るため、安房郡市広域市町村圏事務組合が行う消防や救急事業についての館山市負担金を支出しました。



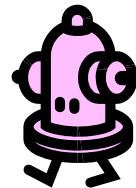
[拡充] 消防水利施設整備事業 (社会安全課)

事業費 3,636万円

財源	国	1,126万円
	県	
	市債	880万円
	他	
	市	1,630万円

消防力の充実・強化を図るため、防火水槽や消火栓の新設・改修・修繕等を行いました。

- ・防火水槽新設 2カ所
- ・消火栓新設 1カ所
- ・防火水槽蓋掛け 3カ所
- ・消火栓修繕等 14カ所



[拡充] 消防団施設・機材整備事業 (社会安全課)

事業費 6,009万円

財源	国	167万円
	県	56万円
	市債	5,670万円
	他	
	市	116万円

消防力の充実・強化を図るため、消防団詰所や消防団が使用する各種機材の整備を図りました。

- ・詰所新築(那古地区) 1カ所
- ・ポンプ自動車購入 2台
- ・消防団無線機購入 81台





福祉・医療
子育て編

障害者自立支援事業 (社会福祉課)

事業費 7億3,818万円

財源	国	3億7,267万円
	県	1億8,036万円
	市債	
	他	
	市	1億8,515万円

障害者などへ、適切な介護支援や身体機能・生活能力向上に必要な訓練などを行い、地域生活を営むための支援を行いました。

※ 障害介護給付費
利用者数 実 338人



高齢者福祉団体補助事業 (高齢者福祉課)

事業費 1,261万円

財源	国	
	県	198万円
	市債	
	他	37万円
	市	1,026万円

老人クラブや館山市シルバー人材センターを支援するため、活動費や運営費を補助し、高齢者福祉の向上を図りました。



地域密着型サービス施設整備事業 (高齢者福祉課)

事業費 4,170万円

財源	国	
	県	4,170万円
	市債	
	他	
	市	

介護サービスの充実を図るため、市内に整備される地域密着型サービス施設の整備等へ補助を行いました。

施設整備補助 1施設
開設準備支援補助 2施設



生活保護事業 (社会福祉課)

事業費 11億7,085万円

財源	国	8億7,814万円
	県	5,167万円
	市債	
	他	
	市	2億4,104万円

生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付を行うとともに、生活指導による、自立助長を図りました。

[生活保護適用]
575世帯 719人
(H27年3月時点)



安房都市広域市町村圏事務組合 保健衛生費負担金 (健康課)

事業費 5,079万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	5,079万円

地域住民の生命と健康を守るため、安房都市広域市町村圏事務組合へ救急医療に関する費用を負担し、救急医療体制の確保・充実を図りました。

[主な内容]

病院群輪番制病院運営事業

土曜午後・日曜日昼間・毎夜間の病院運営事業を実施



地域医療体制推進事業 (健康課)

事業費 9,058万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	4,543万円
	市	4,515万円

地域医療に資する各種施策を実施し、地域医療体制の充実・強化を図りました。

[主な内容]

安房地域医療センター

- 1 安房地域医療センターが行う、二次救急医療の運営費補助
- 2 コミュニティ医療推進活動に対する補助



[拡充] 健康診査・予防接種事業 (健康課)

事業費 1億4,160万円

財源	国	112万円
	県	100万円
	市債	
	他	748万円
	市	1億3,200万円

乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種やがん検診などを実施しました。

[主な内容]

- ・ 高齢者インフルエンザ
 - ・ 四種混合 ・ 日本脳炎
 - ・ 各種がん検診 など
- (新規) 胃がんリスク検診の試験導入



病児・病後児保育事業 (こども課)

事業費 805万円

財源	国	
	県	537万円
	市債	
	他	101万円
	市	167万円

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に、一時的に預かり、保護者の子育てと就労等の両立を支援しました。

[受入施設]

亀田病児・病後児保育室 たてやま



〔拡充〕 元気な広場運営事業

(こども課)

事業費 1,711万円

財源	国	458万円
	県	458万円
	市債	
	他	
	市	795万円

子育て中の親子の交流、子育て講座、育児相談などにより、子育てへの不安解消、児童虐待防止の推進を図ります。

〔元気な広場利用者数〕

H26年度 延33,930人

(新規) 出張子育てひろばの実施
(船形地区)



〔拡充〕 子ども医療費給付金

(こども課)

事業費 9,509万円

財源	国	
	県	4,210万円
	市債	
	他	
	市	5,299万円

子どもの保険診療に係る費用へ助成を行い、児童の健全な育成及び保護者の経済的負担の軽減を図りました。

〔保護者負担額〕

入院1日300円(中学3年生まで)

通院1回300円(小学6年生まで)

※平成26年8月診療分から小学6年生までに拡充
調剤は無料(小学6年生まで)



児童手当給付事業

(こども課)

事業費 5億9,269万円

財源	国	4億 424万円
	県	9,088万円
	市債	
	他	
	市	9,757万円

中学校修了前までの児童を養育する保護者を対象に手当を支給し、児童の健全な育成や子育てに係る経済的負担を軽減しました。

〔児童手当額〕

月額 5千円～1万5千円



〔新規〕 臨時給付金支給事業

(臨時給付金室)

事業費 1億8,508万円

財源	国	1億8,508万円
	県	
	市債	
	他	
	市	

消費税率の引上げに伴い、低所得者・子育て世帯への影響を緩和するため、臨時給付金の支給を行いました。

給付額 1万円～1万5千円

対象者 市民税非課税者・児童手当受給者
※ 市民税課税者の扶養親族除く



東日本大震災避難者支援事業

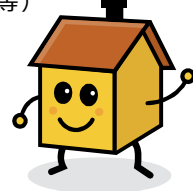
(社会福祉課)

事業費 348万円

財源	国	
	県	348万円
	市債	
	他	
	市	

東日本大震災による市内避難者に対し、各種サービス（民間賃貸住宅借上げによる応急仮設住宅の提供、生活支援情報の提供、相談業務等）を提供し、避難者の生活の安定を図りました。

- ・ 市内避難世帯数：18世帯



[新規] 環境等対策参与報酬

(環境課)

事業費 386万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	386万円

環境行政（残土条例・不法投棄監視・廃棄物処理業者への指導など）の強化のため、外部有識者による新たな参与職（非常勤特別職）を設置しました。

環境等対策参与 1名



環境・衛生編

水質検査等委託事業

(環境課)

事業費 120万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	120万円

市民の健康を守るとともに快適な生活環境を保全するため、環境汚染物質の調査・測定を実施し監視に努めました。

[主な内容]

地下水水質検査（市内6カ所）
浸出水等水質検査（市内10カ所）
河川水質検査（市内3河川）

など



ごみ再資源化事業

(環境課)

事業費 1億2,703万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	4,139万円
	市	8,564万円

ごみの分別による再資源化を促進し、燃やせるごみの減量化を図ります。

[再資源化対象]

金属類・ガラス類・白色トレイ
プラスチック製容器包装
ペットボトル・古紙類など



〔拡充〕 住宅太陽光発電システム・省エネルギー設備設置費補助金 (環境課)

事業費 201万円

財源	国	
	県	201万円
	市債	
	他	
	市	

地球温暖化対策を促進するため、住宅用太陽光発電システムや省エネルギー設備（燃料電池等）を設置する者に対し、補助金を交付しました。

- ・住宅用太陽光発電 22件
- ・家庭用燃料電池システム等（拡充） 6件



安房都市広域市町村圏事務組合 ごみ処理広域化推進費負担金 (環境課)

事業費 3,971万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	3,971万円

安房都市広域市町村圏事務組合が推進している、ごみ処理広域化事業の負担金を支出し、事業の推進を図りました。

〔ごみ処理広域化事業〕

ごみ焼却施設の老朽化により、中間処理（ごみ焼却等）施設及び最終処分場の整備を行う事業



道路新設改良事業

(建設課)

事業費 1億6,176万円

財源	国	330万円
	県	
	市債	1億2,910万円
	他	
	市	2,936万円

生活環境及び道路機能の向上を図るため、市道の改良などに伴う測量・調査・設計や改良・排水・舗装の整備を行いました。

〔主な内容〕

- 道路改良工事 7路線
- 道路排水整備工事 11路線
- 道路舗装補修工事 7路線



土木・交通編

橋梁整備事業

(建設課)

事業費 7,256万円

財源	国	3,816万円
	県	
	市債	2,350万円
	他	
	市	1,090万円

安全・円滑な交通機能確保のため、橋の定期点検や長寿命化計画に基づいた補修工事などを行いました。

〔主な内容〕

- ・館山大橋 橋梁補修工事
- ・補修設計 3橋
- ・定期点検 13橋



〔新規〕 道路施設・付属物点検事業

(建設課・社会安全課)

事業費 836万円

財源	国	459万円
	県	
	市債	
	他	
	市	377万円

車両や歩行者等の安全な通行を図るため、道路標識・照明、横断歩道橋、道路法面などの点検調査を行いました。

〔主な内容〕

- ・ 標識点検 27基
- ・ 照明点検 48基
- ・ 歩道橋点検 1カ所 外



交通安全対策事業 (社会安全課・建設課)

事業費 2,543万円

財源	国	800万円
	県	
	市債	600万円
	他	
	市	1,143万円

市道での交通危険箇所における安全施設等を整備し、交通事故の防止を図ります。

〔主な整備内容〕

- ・ 道路改良工事 2カ所
- ・ 道路反射鏡 ・ 防護柵など



船形館山線道路整備事業

(都市計画課)

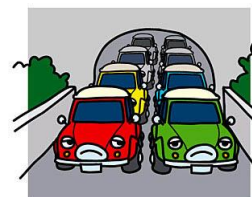
事業費 6,881万円

財源	国	2,765万円
	県	
	市債	2,030万円
	他	
	市	2,086万円

道路ネットワークの整備や観光振興、避難路確保を図るため、船形バイパス整備を進めました。

※ 船形バイパス：富浦IC
付近～鏡ヶ浦通りへの
アクセスルート

用地取得 3,200㎡
取得率 22%
(H26年度末時点)



〔新規〕 館山駅東口駅前広場改修事業

(都市計画課)

事業費 113万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	113万円

館山駅東口駅前広場における、交通の安全性向上を図るため、改修計画を策定します。

H26年度：地形測量
H27年度：改修計画策定



船形芝2号排水路整備事業

(都市計画課)

事業費 908万円

財源	国	
	県	
	市債	670万円
	他	
	市	238万円

大雨時の溢水による被害解消のため、排水路の改良工事を行いました。

[工事概要]

H25年度 設計業務

H26年度 改修工事

(L=23.8m)



いじめ相談室設置事業

(学校教育課)

事業費 182万円

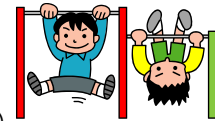
財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	182万円

「いじめ相談室」に「いじめ問題アドバイザー」を配置し、小中学校のいじめに関する電話・訪問相談に対応し、早期発見・早期解決を図りました。

[いじめ相談室概要]

場所：コミュニティセンター

対応日：月～金(10:00～18:00)



教育編

[拡充] 児童生徒心理検査事業

(学校教育課)

事業費 196万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	196万円

児童生徒を対象とした心理テストを実施し、いじめ被害を受けている児童生徒の早期発見、学級状態の現状把握及び問題点の改善を図りました。

[実施対象]

小学校(4～6年生)

中学校(全学年)

※ H26年度から

調査内容を拡充



[拡充] 特別支援教育体制推進事業

(学校教育課)

事業費 1,393万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,393万円

様々な障害をもつ児童生徒に対する学習支援を行うため、小中学校等に特別支援教育学習支援員を派遣しました。

[支援員人数]

小・中学校17名

※ H26年度から2名増員



電子黒板活用事業

(教育総務課)

事業費 959万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	959万円

児童の学力向上を図るため、各小中学校へ電子黒板を配備するとともに、ICT支援員を配置し、操作指導や授業支援を行い、電子黒板の効果的な利活用を図りました。

配備台数32台

(小19台・中13台)・支援員2名



学校施設(幼稚園・小学校)耐震改修事業

(教育総務課)

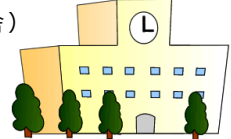
事業費 7億7,892万円

財源	国	2億5,619万円
	県	
	市債	4億2,040万円
	他	
	市	1億233万円

園児・児童の安全対策のため、学校施設の耐震診断、耐震改修設計及び改修工事を実施しました。

[工事箇所]

北条小(低学年棟)・館山小(北棟・体育館)・豊房小(体育館)・豊房幼(園舎)



[新規] 学校給食センター施設整備事業

(給食センター)

事業費 867万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	867万円

老朽化の著しい現在の学校給食センター建替えのため、施設の基本設計業務を行いました。

[工事概要]

H26年度 基本設計

H27年度 実施設計

H29年度以降

工事着手予定



[新規] 小谷家住宅保存活用支援事業

(生涯学習課)

事業費 391万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	313万円
	市	78万円

小谷家当主が実施する、館山市指定有形文化財「小谷家住宅」の保存修理事業に対し、補助を行いました。

[事業期間]

H26年度～H27年度



館山若潮マラソン大会事業 (スポーツ課)

事業費 4,326万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	4,326万円
	市	

「第35回館山若潮マラソン大会」を開催し、市民の健康・体力づくりやスポーツ観光による地域経済活性化を図りました。

開催日：
H27年1月25日
申込者：11,740人



『経済活性化によるまちづくり』のため

農 水
産 業 編

地域おこし協力隊事業 (農水産課・商工観光課)

事業費 1,825万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,825万円

地域活性化のため、都市部など地域外の人材を活用し、農業部門などの地域活動に従事することにより、地域力の維持・強化を図りました。

H26年度委嘱5名
(継続2名 新規3名)
農業関係4名 商業関係1名



有害鳥獣対策事業 (農水産課)

事業費 834万円

財源	国	
	県	363万円
	市債	
	他	
	市	471万円

鳥獣による農作物の被害を抑えるため、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置について支援を行いました。

[主な内容]
・ イノシシ捕獲 133頭
・ 防護柵 23カ所
・ 箱わな 50基 外



食のまちづくり推進事業

(農水産課)

事業費 494万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	494万円

公設卸売市場用地(跡地:稲地区)を、地域内農産物の流通拠点、食のまちづくりの推進拠点とするため、粗造成・簡易舗装工事を行うとともに、「たてやま食のまちづくり計画」を策定しました。

碎石舗装:約3,000㎡



[新規] 農業基盤整備促進事業補助金

(農水産課)

事業費 1,025万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,025万円

安定した農業用水の確保を図るため、安房中央土地改良区が実施する農業用用水路等の老朽化に伴う補修・整備について補助を行いました。

受益面積 974ha

事業実施

安房中央土地改良区



稚貝放流事業補助金

(農水産課)

事業費 295万円

財源	国	
	県	75万円
	市債	
	他	
	市	220万円

市内5漁業協同組合が実施する磯根資源(さざえ・あわび)の保護・繁殖のための稚貝放流事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興を図りました。

補助率:事業費の1/2



定住・移住促進事業

(プロモーションみなと課)

商 工 ・
観 光 編

事業費 411万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	411万円

都市部などからの移住希望者に対し、相談業務などの移住支援を行い、定住移住者の増加に努め、地域の活性化を図りました。

[H 2 6 年度実績]

- ・ 移住者実績：58人
(23世帯)
- ・ 相談件数：141件



中小企業融資事業

(商工観光課)

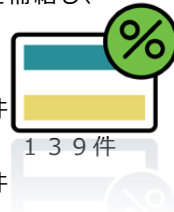
事業費 5,629万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	4,500万円
	市	1,129万円

館山市中小企業融資などの借入れを行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給し、中小企業の振興を図りました。

[H 2 6 年度 主な実績]

- ・ 中小企業融資利子補給金 149件
- ・ 小規模事業者経営改善資金利子補給金 139件
- ・ 中小企業融資保証料補給金 97件



観光振興事業

(商工観光課)

事業費 1,919万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	245万円
	市	1,674万円

観光客の受入体制強化、着地型旅行などの推進のため、民間団体などが行う観光振興に資する事業に対して支援を行いました。

[主な内容]

- ・ 館山市観光協会への補助 492万円
- ・ 館山市温泉事業組合への補助 245万円 外



「渚の駅」たてやま」商業施設棟建設事業

(商工観光課)

事業費 8,652万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	8,652万円

魅力ある海辺のまちづくりのため、「渚の駅」たてやま内に、飲食・物販を行う商業施設棟を建設し、賑わい空間の創出を図りました。

- ・ H 2 6 年 1 1 月開業
- ・ 総事業費：
約1億4,104万円



〔新規〕 沖ノ島環境保全事業 (商工観光課)

事業費 2,162万円

財源	国	
	県	
	市債	1,210万円
	他	410万円
	市	542万円

海水浴シーズンの観光客増加による、環境劣化等に対処するため、新たなバイオトイレの設置などを行いました。

- 〔主な事業〕
- ・ 沖ノ島警備業務委託
 - ・ 完全自立型
バイオトイレ設置



〔拡充〕 客船等歓迎行事委託料 (プロモーションみなと課)

事業費 905万円

財源	国	
	県	250万円
	市債	
	他	
	市	655万円

館山夕日桟橋及び館山湾の利活用推進による地域経済活性化のため、客船等の誘致活動や受入環境の整備を行いました。

- ・ にっぽん丸
- ・ 帆船「日本丸」
- ・ 高速ジェット船 外



〔新規〕 里見氏安房国替400年行事 (企画課・博物館)

事業費 489万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	330万円
	市	159万円

里見氏十代忠義公が、安房から国替えとなり400年が経過する節目の年に、房総里見氏の文化・歴史を内外へPRするため記念行事を行いました。

里見シンポジウム
(H26年10月19日)
博物館特別展の開催
(春・秋 年2回)





雇 用 ・
経 済 対 策 編

起業支援補助金 (商工観光課)

事業費 306万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	306万円

市内において起業する個人や法人に対し、事業を起こすために要する経費の一部に補助を行い、市内産業の振興を図りました。

[H 2 6 年度 実績]

- ・ 開設経費補助 5 件 (上限 5 0 万円)
- ・ 事務所賃借経費補助 2 件
(上限 5 万円 / 月 × 1 2 カ月)



[新規] 企業誘致共同調査研究事業負担金 (プロモーションみなと課)

事業費 400万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	400万円

効率的・効果的な企業誘致活動を行うため、(財) 地方自治研究機構との共同により、企業誘致基本方針 (仮称) の策定に関する調査研究事業を行いました。

全体事業費: 1,000万円
(館山市負担 40%)



住宅リフォーム補助事業 (都市計画課)

事業費 1,972万円

財 源	国	900万円
	県	
	市債	
	他	
	市	1,072万円

住環境の充実、耐震化の推進及び地域経済活性化を図るため、リフォーム補助事業を行いました。

補 助 額: 対象工事費の 10 %
限 度 額: 20 万円
補助件数: 170 件



『 財政の安定と健全化 』 のため



行 財 政
改 革 編

〔新規〕 クレジット収納導入事業 (納税課)

事業費 614万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	614万円

徴収率の向上と納税者の利便性向上を図るため、市税・各種保険料のクレジット収納を導入しました。

〔対象税目〕

市県民税、固定資産税・都市計画税、
軽自動車税、国民健康保険税、
後期高齢者医療保険料、
介護保険料



可燃ごみ収集事業の完全民営化 (環境センター)

事業費 - 万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	

可燃ごみ収集業務について、市内全地区において民間委託を行いました。

〔環境センター職員数〕

H20年度 49名(直営実施)

H26年度 40名(民間委託)

職員数は▲9名となりました



〔新規〕 使用料・手数料の一部見直し

事業費 - 万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	

消費税率引上げに伴い、使用料・手数料の一部を見直しました。

〔主な見直し項目〕

- ・ 行政財産使用料 (3%増)
- ・ 下水道使用料 (3%増)



最後まで読んでいただき

ありがとうございました。

市の決算状況や皆さまからの税金の使われ方、平成26年度において市が実施した主な事業内容などが、わかっていただけましたでしょうか？

市の財政状況を把握するためには、様々な財政指標が数値化される『決算』の内容を知ることが一番であると思います。

市民の皆さまに、市の財政状況に関心を持っていただき、率直な意見を市にお寄せいただくことが、行政サービスをより一層効率的・効果的なものに変え、住民福祉（サービス）の向上につながると考えています。

今回の『館山市の台所事情』で
“分かりにくかったこと” “もっと知りたいこと”
などありましたら、お気軽にご意見・ご質問をいただけますと、
次回以降の改善に役立ちます。

皆さまからのご意見をお待ちしています。



館山市マスコットキャラクター



本名	ダッペエ
分類	イヌ（雑種）
由来	房総の方言「～だっぺ！」が名前の由来。
口癖	「ワンワン」ではなく「ペェペェ」と吼える。 喋る時は語尾に「っぺ！」がつく。
家系	里見八犬伝の犬「八房（やつふさ）」の親戚の末裔（まつえい）の知り合いの親戚。
性格	おおらかで適当。房州育ちであれば骨が1本足りない。

オフィシャルホームページ⇒<http://dappee.com/>

館山市の家計簿

（平成26年度決算版）

平成27年10月作成

館山市総務部行革財政課

T E L 0470-22-3291

F A X 0470-23-3115

E-Mail gyouzai@city.tateyama.chiba.jp